藤田医科大学病院

病院長名	今泉 和良
所在地	〒470-1192
	愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地 98
	名鉄線名古屋駅より(22分)前後駅下車、名鉄バス(15分)「大学病院」下車/桜通線名古屋駅より(35分)徳重駅下車、名古屋市営バス徳重13系統または名鉄バス(16分)「大学病院」下車/鶴舞線伏見駅より(21分)原駅下車、名古屋市営バス徳重13系統(33分)「大学病院」下車

■ 病院の特徴

当院は名古屋市に隣接しており、道路を渡ると名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応しており、DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」で当院の DPC 件数が全国の大学病院の中で 2023 年度、2024 年度、連続第1位となりました。

"産学共同研究とともに歩んできた放射線医学教室の歴史"

本学は1973年に病院開設と同時に古賀佑彦教授が着任され、2001年片田和広教授が第2代目教授に就任後,2007年には現在世界的にも多くの国に普及している320列の面検出器CT(東芝メディカル社製)を共同開発しました。2013年、外山宏が第3代目教授に就任後、2017年には世界初の人体用超高精細CT(東芝メディカル社製)の開発、世界初の96リング搭載の高精細PET/CT(上海、UIH社)を導入し、世界初の海外共同研究拠点となりました。2024年から井上政則が第4代目教授に就任しました。画像診断に加えて、IVRの専門家としてオスラー病や血管奇形、リンパ異常等の稀な疾患のIVR治療に注力しさらなるIVRの充実化を実現しています。画像診断とIVRを表裏一体として放射線科の充実を図っています。

■ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】藤田医科大学病院放射線科専門研修プログラム 【研修目標】

3年以上の専門研修により、放射線科領域における幅広い知識と錬磨された技能、ならびに医師としての高い倫理性、コミュニケーション能力およびプロフェッショナリズムを備えた放射線科専門医をめざす。最終的に、高度な先進的医療を担う放射線診断専門医もしくは放射線治療専門医を育成する。

【研修期間】

専門医取得まで4年

(参考:放射線診断専門医もしくは放射線治療専門医取得まで6年) 【研修スケジュール】

専攻医は「専門研修プログラム」に沿って幅広い領域の疾患・病態を経験します。具体的には、「第一読影者としての読影レポート作成と、その後の専門研修指導医の確認を経たレポート発行」、「専門研修指導医とともに実施する検査・手技・IVR」、および「治療計画の立案と、その後指導医の確認を受けた放射線治療」等となります。これを実現するため、当院放射線科を専門研修基幹施設として、専門研修連携施設、専門関連施設と協力した研修を行います。



■ 主な連携施設

ばんたね病院、岡崎医療センター、羽田クリニック、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター、名古屋セントラル病院、JA 長野厚生連 北信総合病院、大同病院、名鉄病院、南生協病院、あいち健康クリニック、聖隷浜松病院 等

メッセージ

低侵襲画像診断・治療センターは、日本で唯一、一棟すべて放射線の診断・治療機器の建物です。これらの豊富な最新の機器と診断、IVR、核医学、治療すべての領域の専門医が揃っており、万全の指導体制です。学内の他科診療科スタッフ、医療科学部放射線学科の技術系専門家、企業の開発スタッフとの定期的なミーティングも開催しています。3回/年、低侵襲画像診断・治療研究会として、若手スタッフの指名講演、各領域の第一人者による特別講演を開催し、学内外から多くの参加者があります。若い先生も国内、海外の学会、研究会での発表や、教育的な研修セミナーに積極的に参加しています。2024年からサイクロトロンを有するセラノティクスセンターも稼働を開始しています。若いスタッフが毎年増加しているため教育のさらなる充実化をはかり毎日、夕方にその日の興味症例のカンファレンスを行い、月に2回 IVR カンファレンスを開始しました。ぜひ一度見学にいらしてください。

■ 募集要項

・採用予定人数	5人
・給与/月額	月額 320,299 円(2024 年度実績・週 37.5 時間の場合・ みなし固定残業手当を含む) 別途、賞与、超過勤務手当、その他各種手当支給あり
・当直回数/月	0.5 回/月 オンコール 2 回/月ほど
・当直料/回	当直 12,000 円/回
・その他	・カフェテリアブラン (選択型福利厚生制度) 2024 年度 55,000 円/年
・応募連絡先	担 当 者 小濵祐樹(おばまゆうき)
	電話番号 0562-92-9259
	Eメール y-obama@fujita-hu.ac.jp